

あたたかい子  
かしこい子  
たくましい子

学校だより

つよし

—第33号—

令和元年12月2日  
平戸市立津吉小学校  
文責 校長 田川定司

カレンダーも残すところ12月の一枚となり、一年の暮れを感じる季節となりました。2学期も残り3週間となりましたが、充実した2学期を振り返らせ、それぞれの成長を確認し、新しい年に夢を持たせていきたいと思います。

さて津吉小学校では、120名の全児童を19名の全職員で教育していく体制をとっています。また、外部の専門機関を活用し、子供たち一人一人に応じた教育を推進しています。具体的に担任教師以外に下記のような方々と共に子供たちの支援に当たっています。

## 12月行事予定

- 2日(月) 委員会活動
- 4日(水) 授業参観・懇談会、人権集会  
特別支援教育講演会
- 10日(火) スクールカウンセラー相談
- 13日(金) おにぎり給食
- 16日(月) 地区児童会
- 19日(木) 市学力テスト
- 24日(火) 第2学期終業式

### 特別支援教育コーディネーター (津吉小：吉田教諭)

児童や保護者が困っていることを専門機関につないだり、解決に向けて会議を開き学校全体で見守る体制を築いたりする中心です。

### 児童支援教諭 (津吉小：吉田教諭)・特別支援教育支援員 (津吉小：大石支援員)

吉田教諭は3年生～6年生の算数、大石支援員は1年生国語・算数と2年生の算数の授業に入り、担任と一緒に教科指導に当たるとともに、学習の理解が十分でない児童を個別指導します。

### スクールカウンセラー (田島先生)

今年度9月から毎月1回来校し、児童・保護者の心の相談や子育ての助言等を行います。

### 佐世保特別支援学校コーディネーター (北松分教室：竹末先生)

教育上特別な支援を要する児童の学習指導や生活指導等に関する相談を行うとともに、必要に応じて検査等を実施し児童の特性を把握して指導・助言を行います。

小・中学校の通常学級で「知的に遅れはないものの学習面または行動面で著しい困難を示す児童生徒」の割合は、平成24年の文部科学省の調査で6.5%、平成27年の長崎県の調査で7.6%となっており、特別な配慮を要する児童に対して、個に応じた指導・支援、つまり「特別支援教育」が、学校には求められています。

「特別支援教育」とは、児童一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

津吉小学校では、明後日4日(水)に、長崎大学教育学部の内野成美准教授をお招きし、「子どもの発達と行動」というテーマで、特別支援教育講演会を開催します。ぜひ、御参加ください。